

はじめに

平成10(1998)年に3万人を超えた我が国の自殺者数は、様々な取り組みにより、平成22(2010)年以降減少傾向となりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、令和2年には増加に転じ、依然として年間2万人近くの方が自ら尊い命を絶っています。

自殺は、心身の健康問題のほか、仕事上の問題、生活困窮、育児疲れや介護疲れ、いじめや孤立など様々な要因が複雑に絡み合っ引き起こされ、その多くが追い込まれた末の選択であり、誰にでも起こり得る身近な問題です。

このような現状を踏まえ、誰もが自らの命を絶つことのない健康で生きがいを持って暮らすことのできる社会の実現を目指していかなければなりません。



本市では、平成31(2019)年度から令和6(2024)年度までの6年間を計画期間とする「中津市自殺対策計画(第1期)」を策定し、関係機関や関係団体等と連携しながら、自殺対策を総合的に推進してまいりました。

この取り組みにより、本市の自殺者数は、計画策定前の平成30(2018)年の20人から令和元(2019)年には12人にまで減少しましたが、令和2(2020)年には、全国と同様に増加がみられ、その後も増減を繰り返している状況です。

この度、前計画の基本理念を継承し、取組内容の更なる充実を図った「中津市自殺対策計画(第2期)」を令和7(2025)年度から令和12(2030)年度までの6年間を計画期間として、策定いたしました。

今後は本計画に基づき、「誰も自殺に追い込まれることのない中津市」の実現を目指し、市民の皆様をはじめ関係機関や関係団体等と連携しながら、自殺対策に取り組んでまいりますので、皆様のより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたりご尽力を賜りました「中津市自殺対策連絡協議会」の委員の皆様をはじめ、市民意識調査において貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様にご心からお礼を申し上げます。

令和7年3月

中津市長 奥塚正典